

補正予算の 審議から

Q
&
A
【抜粋】

18年度補正予算審議

18年度決算に向けて専決処分された一般会計から病院会計までの11件の案件が審議されました。

質問 納税組合に関わる合併協定の結論はそれとおりとしても前納報奨金の廃止などを含むことで今後の徴収率向上に支障をきたすのではないか。これまで実績を上げてきた納税組合のあり方についてどのように考えられるのか伺います。

答弁 区ごとの集約ができにくくなっていますが、旧町村部の繰越額がふえているように思われます。このことから納税組合にきちんとした従来の活動をして頂けるように、補助金等の検討も含め活動しやすい環境を整えていきたいと思っています。

質問 小中学生の各種体育大会等への参加にどのような基準で派遣されているのでしょうか。奥州

市になってどのように変わったか伺います。

答弁 奥州市立小中学校児童生徒文化大会および体育大会事業補助金交付要綱をもとに支給しております。旧市町村17年度290万であり合併後18年度は206万でした。

質問 放課後児童健全育成事業についてどのように対応されているのか伺います。

答弁 人的体制を整えた中での運営とはなりません。児童クラブとして私立幼稚園3園にお願いするかたちで進めています。児童館、児童センターとの関係も含め検討して参ります。

19年度補正予算審議

質問 老人医療費支給経費として予算化された内容についてですが、後期高齢者医療の市町村ごとにシステムや業者が違うという点では、効率的な運営にはならず、

受給者の負担が増えることにつながるのではないかと伺います。

答弁 後期高齢者医療広域連合との連携のため、システムの導入、データのセットアップなどにあてるものです。時間的な制限もあつてシステムや業者統一は、難しく、県連合への要望にはならないと思います。

質問 年金問題で混乱がありますが、市の窓口での対応はどのようにされるのか伺います。

答弁 窓口では社会保険庁への問い合わせをしてお知らせすることになります。市では国民年金のみの扱いになりますが、年金納付の古い台帳は保管義務がなかったため水沢は廃棄、他の区はダンボール等に保存されています。整理されているとはいえませんが必要があれば対応しなければならな

質問 農業用地の基盤整備は現在どの程度の整備率なのか伺います。

答弁 今施工中の地域を合わせると56%程度になります。県平均に近づいてまいります。このほか現在藤里北部、次丸、裏新田、内堀、石山、南下幅北部の6地域が調査等の状況にあります。いろいろなご意見を頂きながら対応していきたい。

質問 現在農家には、特定農業団体づくり、品目横断的経営安定対策への対応、農地水環境保全対策事業への対応など、農家に大変に複雑な対応が求められています。特に事務的な点において苦慮しています。途中で申請をあきらめている実態がありますが、事業導入にあたっては十分に配慮されるようお願いしたい。

答弁 複雑な事務であったことはそれとおりであります。5年間のなかで出来るだけ取り入れるよう、懇切丁寧な説明に勤め、できるだけ多くの農家の皆さんに取り組んで頂くよう努めて参ります。

人権擁護委員候補者 3氏を推薦決定

19年度中に任期満了となる人権擁護委員について、市長から提案された3名の方を、人権擁護委員候補者として推薦することを議決しました。

9月末に任期満了となる菊池義弘さん（水沢区字北栗林在住）と平野壯一さん（江刺区男石一丁目在住）は引き続き候補者として推薦し、12月末に任期満了となる佐藤賢一さん（水沢区佐倉河在住）を候補者として推薦しました。